

2016年3月期 第2四半期 決算説明資料



株式会社ヴィンクス
2015年 12月 2日

JASDAQ

証券コード：3784

1. 2016年3月期 第2四半期 決算概要 および通期業績予想

- 決算のポイント . . . P 4
- 通期業績予想の修正に関するお知らせ . . . P 5
- 分野別状況 . . . P 6

2. 基本戦略と直近のトピックス

- 4つの基本戦略 . . . P11
- 個別トピックス . . . P12

3. B/SおよびC/F

- 財政状況（前期末比較） . . . P17
- キャッシュ・フローの状況 . . . P18

4. 今後の見通し

- 商品・サービスの差別化戦略 . . . P20
- 次年度に向けてのトピックス . . . P21
- 業績見通し . . . P22

1. 2016年3月期 第2四半期 決算概要 および通期業績予想

決算のポイント

<上期総括>

連結売上高は、138億95百万円（前年比101.1%）となりました。

売上高につきましては、顧客における経営環境の変化に伴い、大型開発案件の計画が変更になったことなどの影響はありましたが、大手総合小売業グループ向け事業の拡大が進み、増収となりました。

営業利益は8億6百万円（前年比100.6%）、経常利益は7億52百万円（前年比75.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億86百万円（前年比80.2%）となりました。

営業利益につきましても上記の結果、増益となりました。一方で経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益は為替の影響および、前年同期に発生したシステムサービス解約収入との差異により減益となりました。

【上期業績】

単位：百万円、%、百万円未満切捨て

	上期実績		計画対比（5月12日発表）				前年対比			
	実績値	売上比	計画値	計画比	計画差	売上比	前年値	前年比	前年差	売上比
売上高	13,895	—	14,383	96.6%	▲ 488	—	13,750	101.1%	145	—
売上総利益	2,719	19.6%	2,879	94.5%	▲ 160	20.0%	2,579	105.4%	140	18.8%
販売管理費	1,913	13.8%	2,018	94.8%	▲ 105	14.0%	1,777	107.6%	136	12.9%
営業利益	806	5.8%	861	93.6%	▲ 55	6.0%	801	100.6%	5	5.8%
経常利益	752	5.4%	859	87.7%	▲ 107	6.0%	998	75.4%	▲ 246	7.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	486	3.5%	565	86.1%	▲ 78	3.9%	606	80.2%	▲ 120	4.4%

通期業績予想の修正に関するお知らせ



<通期予想修正の理由>

顧客における経営環境の変化に伴い、大型開発案件の計画が変更になったこと及び、為替差損の影響などにより、10月27日に通期業績予想の修正を致しました。

前年比では、売上高及び営業利益について増収増益を見込んでおります。

【通期見通し】

単位：百万円、%、百万円未満切捨て

	修正後予想		修正前計画対比（5月12日発表）				前年対比			
	予想値	売上比	計画値	計画比	計画差	売上比	前年値	前年比	前年差	売上比
売上高	28,100	—	29,100	96.6%	▲ 1,000	—	28,069	100.1%	31	—
売上総利益	5,396	19.2%	5,654	95.4%	▲ 258	19.4%	5,225	103.3%	171	18.6%
販売管理費	3,816	13.6%	4,014	95.1%	▲ 198	13.8%	3,667	104.1%	149	13.1%
営業利益	1,580	5.6%	1,640	96.3%	▲ 60	5.6%	1,558	101.4%	22	5.6%
経常利益	1,515	5.4%	1,618	93.6%	▲ 103	5.6%	1,757	86.2%	▲ 242	6.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	945	3.4%	1,020	92.6%	▲ 75	3.5%	981	96.2%	▲ 36	3.5%

分野別状況（アウトソーシング分野）



アウトソーシング分野

（システム運用・管理サービス、保守、ヘルプデスクサービス、ASPサービス等）

- 前年同期に発生したシステムサービスの解約等の影響があったものの、売上高および営業利益は計画値を上回りました。

単位：百万円、% 百万円未満切り捨て

＜連結＞	上期		計画対比（5月12日発表）				前年対比			
	実績値	*比率	計画値	計画比	計画差	*比率	前年値	前年比	前年差	*比率
売上高	6,609	47.6%	6,560	100.8%	49	45.6%	7,331	90.2%	▲ 721	53.3%
売上総利益	1,326	20.1%	1,338	99.1%	▲ 12	20.4%	1,331	99.6%	▲ 5	18.2%
営業利益	401	6.1%	400	100.3%	1	6.1%	414	96.8%	▲ 13	5.7%

※比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益及び営業利益は利益率を表示しております。

ソリューション分野

（流通サービス業基幹システム、クレジットカードシステム、Webシステムの開発）

- 大手総合小売業グループ向けや、中堅ドラッグストア向け開発案件により売上高、売上総利益、営業利益は前年値を上回りましたが、予定していた大型案件の計画が変更になった影響で、計画値は下回りました。

単位：百万円、% 百万円未満切り捨て

＜連結＞	上期		計画対比（5月12日発表）				前年対比			
	実績値	*比率	計画値	計画比	計画差	*比率	前年値	前年比	前年差	*比率
売上高	4,347	31.3%	5,047	86.1%	▲ 700	35.1%	3,923	110.8%	423	28.5%
売上総利益	1,053	24.2%	1,177	89.5%	▲ 123	23.3%	843	124.9%	209	21.5%
営業利益	306	7.1%	352	87.1%	▲ 45	7.0%	257	119.2%	49	6.6%

※比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益及び営業利益は利益率を表示しております。

分野別状況（プロダクト分野）



プロダクト分野

（流通サービス業向けパッケージ開発、販売）

- プロダクトの拡販が進み、売上高は計画値および前年値を上回りました。
一方、次年度に向けた新商品の研究開発投資の影響で営業利益は計画値を下回りました。

単位：百万円、% 百万円未満切り捨て

＜連結＞	上期		計画対比（5月12日発表）				前年対比			
	実績値	*比率	計画値	計画比	計画差	*比率	前年値	前年比	前年差	*比率
売上高	632	4.6%	605	104.4%	26	4.2%	590	107.2%	42	4.3%
売上総利益	222	35.2%	208	107.0%	14	34.4%	258	86.2%	▲ 35	43.8%
営業利益	60	9.5%	62	96.6%	▲ 2	10.3%	80	74.7%	▲ 20	13.7%

※比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益及び営業利益は利益率を表示しております。

分野別状況（その他 I T 関連分野）



その他 I T 関連分野

（ハードウェア販売、ハードウェア及びミドルウェア保守サービス等）

- ・物販（ミドルウェアライセンス等）の増加により、売上高は計画値および前年値を上回りましたが、物販比率の増加に伴い売上総利益・営業利益は計画値および前年値を下回りました。

単位：百万円、% 百万円未満切り捨て

＜連結＞	上期		計画対比（5月12日発表）				前年対比			
	実績値	*比率	計画値	計画比	計画差	*比率	前年値	前年比	前年差	*比率
売上高	2,305	16.6%	2,169	106.3%	136	15.1%	1,905	121.0%	400	13.9%
売上総利益	116	5.1%	155	75.3%	▲ 38	7.1%	145	80.3%	▲ 28	7.6%
営業利益	37	1.6%	46	81.4%	▲ 8	2.1%	48	77.1%	▲ 11	2.6%

※比率・・・売上高は売上構成比、売上総利益及び営業利益は利益率を表示しております。

2. 基本戦略と直近のトピックス

事業成長と安定的な収益基盤確立の両立

売上高の成長

利益率の向上

戦略 1 特定顧客化戦略

1. 特定顧客事業の拡大
2. 新規特定顧客の開拓
3. スtockビジネスの拡大

戦略 2 グローバル戦略

1. 日系企業向け中国・アセアン地域進出の支援の拡大
2. IT運用サービスの拡大
3. 中国・アセアン地域における現地法人向けサービスの拡大

戦略 3 商品・サービスの差別化戦略

1. 製品・サービスのラインアップの拡大
2. 流通システムのクラウド化
3. グローバル展開に対応した商品化及びチャネル販売の確立

戦略 4 経営基盤の強化

1. 事業継続基盤の強化
2. 品質とプロジェクト管理の強化
3. 人材マネジメントの強化
4. 国際分業の推進

上期における主な営業トピックス



新規顧客、 新規分野の獲得 既存顧客の	<p>スーパー ●ギフト承りシステム 静岡県の中堅スーパーより、ギフト承りシステム「Smart-Gift®」の受注を獲得致しました。</p> <p>スーパー ●商品管理基幹システム 福井県の中堅スーパーより、商品管理基幹システム「MDware®」の受注を獲得致しました。</p>
サービスビジネス の拡大	<p>スーパー ●顧客情報システム 関東地方を中心に展開する大手スーパーより、顧客情報システム「Hybrid Satisfy®」の受注を獲得致しました。</p> <p>飲食 ●クラウド型タブレットPOSパッケージ 「ANY-CUBE®+1」が、関東地方を中心として展開する飲食業にて本番稼動すると共に、その他多くのお客様より引き合いを頂いております。</p> <p>商社 ●統合監視ツール 制御機器商社のITシステム監視ツールとして、「Integrated Viewer® for Zabbix」の受注を獲得致しました。</p>
グローバル ビジネス の拡大	<p>スーパー (海外) ●商品管理基幹システム ベトナム現地スーパー向けの、商品管理基幹システム「MDware®」の開発を進めております。</p>

特定顧客事業の拡大と新たな特定顧客の開拓 決裁のみ

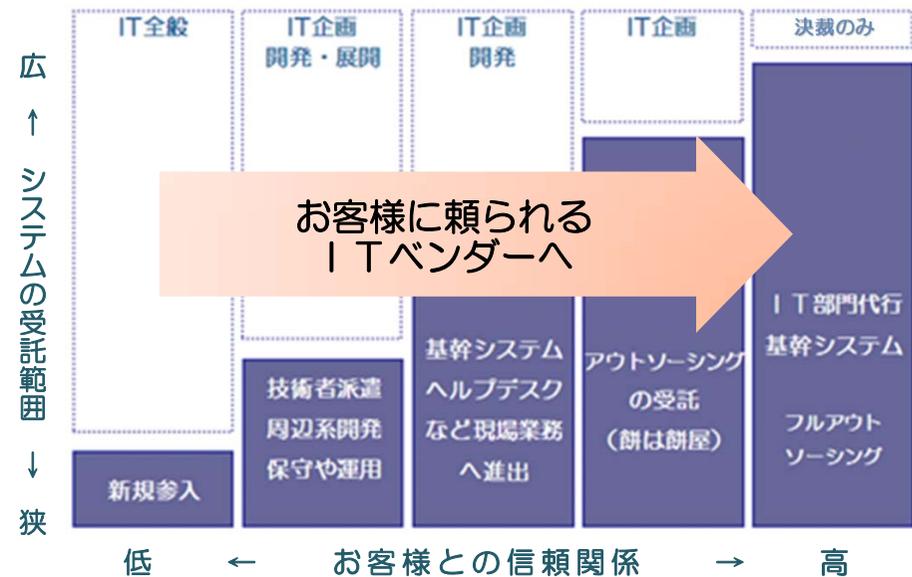
● 主な新規顧客、既存顧客の新規分野の獲得の状況

<新規顧客>

- 福井県の中堅スーパーより、商品管理基幹システム「MDware®」の受注を獲得。
- 関東地方を中心として展開する飲食業各社よりクラウド型タブレットPOSパッケージ「ANY-CUBE®+1」の受注を獲得。

<既存顧客の新規分野>

- 静岡県の中堅スーパーより、ギフト承りシステム「Smart-Gift®」の受注を獲得。
- 関東地方を中心として展開する大手スーパーより、顧客情報システム「Hybrid Satisfy®」の受注を獲得。



日系企業向けITサービスの拡大

- 大手日系流通小売業様向けに、出店支援を行いました。

※ ITサポート全般、ヘルプデスク、ネットワーク構築等

<中国>

北京豊台店および、蘇州園区湖東店

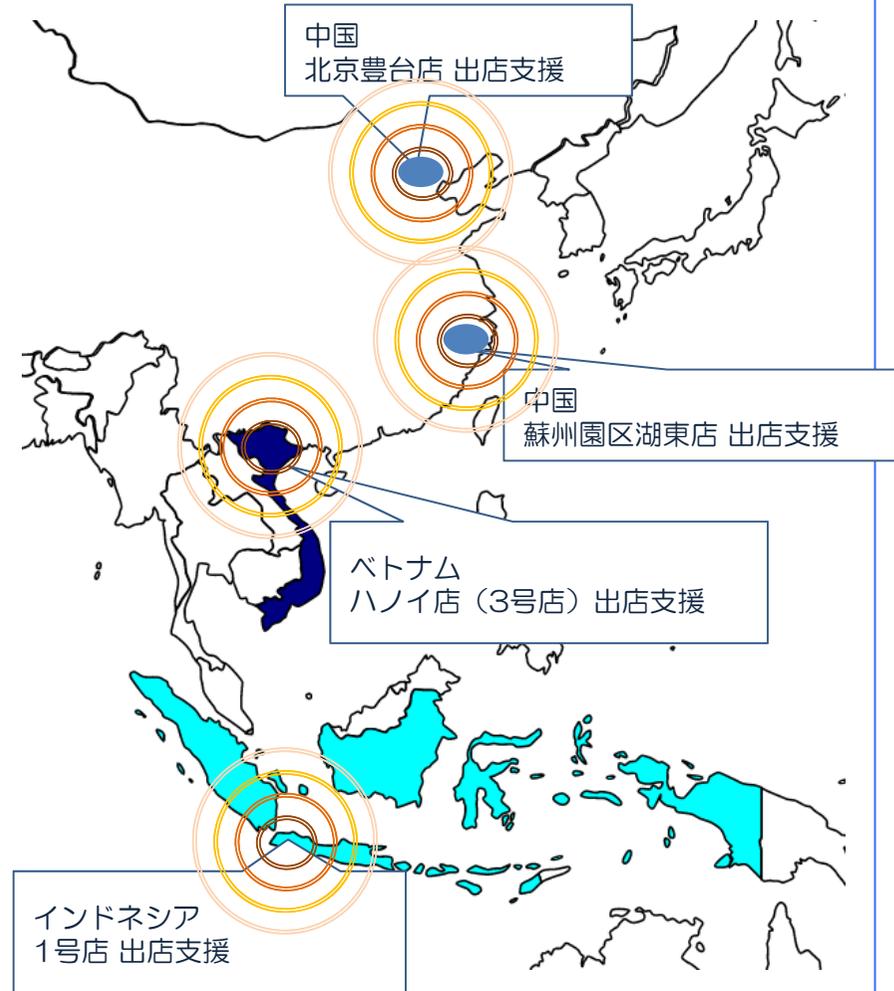
<インドネシア>

バンテン州店（インドネシア1号店）

<ベトナム>

ハノイ店（ベトナム3号店）

- 中国の大手日系流通小売業様7社へ、商品管理基幹システム「MDware®商品情報分析」を導入致しました。

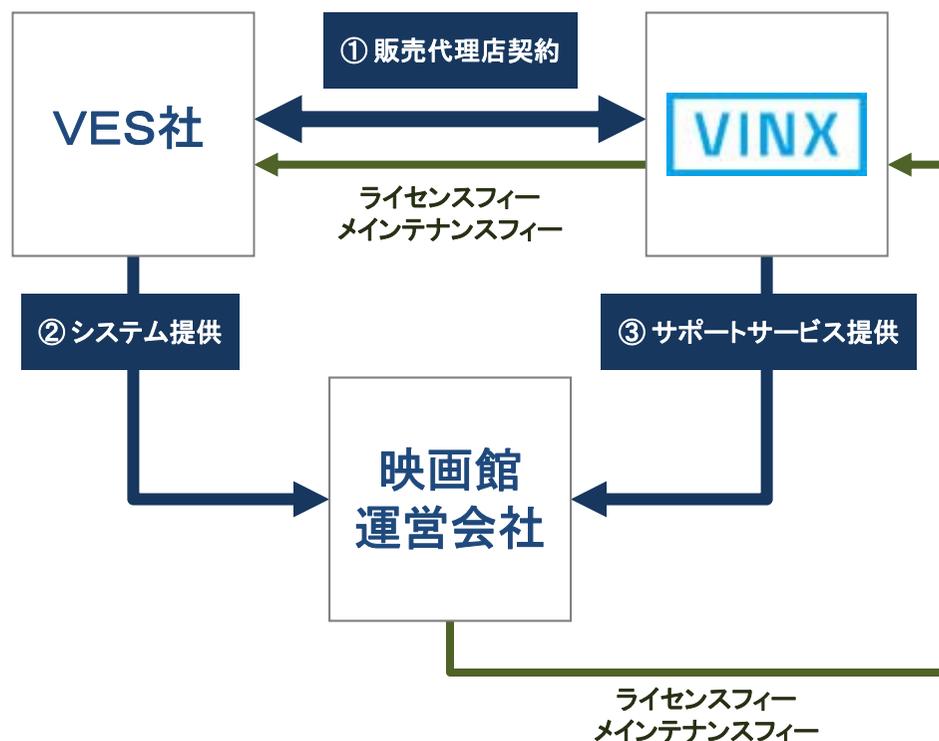


販売代理店契約の締結

- Vistaエンターテインメントソリューションズ社（VES社）の国内代理店第一号として販売代理店契約を調印

Vistaグループインターナショナルの一員であり、約40%の世界シェアを有するシネマ管理ソフトウェアのNo.1企業である、VES社との間で、2015年8月26日に販売代理店契約を締結いたしました。

VES社との提携により新たにシネマ市場へ参入し、更なる事業規模の拡大及び企業価値の向上に努めてまいります。



3. B/SおよびC/F

財政状況（前期末比較）



<貸借対照表>

単位：百万円、%、百万円未満切捨て

区分	2016年3月期 第2四半期末		2015年 3月期末	差 額
		構成比 (%)		
流動資産	11,600	76.8	12,597	▲ 996
固定資産	3,504	23.2	3,789	▲ 285
<有形固定資産>	1,188	7.9	1,332	▲ 144
<無形固定資産>	1,077	7.1	1,175	▲ 97
<投資その他の資産>	1,238	8.2	1,281	▲ 43
資産合計	15,105	100.0	16,387	▲ 1,282
流動負債	4,708	31.2	5,952	▲ 1,244
固定負債	3,513	23.3	3,980	▲ 466
負債合計	8,222	54.4	9,933	▲ 1,711
純資産	6,883	45.6	6,454	428
負債・純資産 合計	15,105	100.0	16,387	▲ 1,282

<貸借対照表のポイント>

第2四半期連結会計期間末の資産および負債は、買掛金の減少・消費税・法人税の支払および、長期借入金返済等により、以下の通りとなりました。

①総資産

151億5百万円 12億82百万円減

(主な要因)

- ・現金および預金 8億54百万円減
- ・受取手形及び売掛金 4億70百万円減
- ・短期貸付金 4億38百万円増

②負債総額

82億22百万円 17億11百万円減

(主な要因)

- ・買掛金 3億46百万円減
- ・未払金（消費税等） 3億1百万円減
- ・未払法人税等 3億39百万円減
- ・長期借入金 3億60百万円減

③純資産

68億83百万円 4億28百万円増

(主な要因)

- ・利益剰余金 3億94百万円増

キャッシュ・フローの状況



単位：百万円、百万円未満切捨て

税金等調整前四半期純利益	749
減価償却費	533
その他	▲549
小計	734
法人税等の支払額等	▲445
営業活動によるキャッシュ・フロー	286
固定資産の取得による支出	▲272
貸付による支出	▲464
貸付金の回収による収入	25
その他	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲710
長期借入金の返済による支出	▲360
配当金の支払額	▲88
その他	48
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲400
現金及び現金同等物に係る換算差額	31
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	▲792
現金及び現金同等物の期首残高	3,909
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	▲61
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,054

＜キャッシュ・フロー計算書のポイント＞

第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は30億54百万円となり、詳細は以下の通りです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果増加した資金は2億86百万円となりました。

＜主な要因＞

- ・税金等調整前四半期純利益 7億49百万円
- ・法人税等の支払 ▲4億45百万円

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果減少した資金は7億10百万円となりました。

＜主な要因＞

- ・貸付による支出 ▲4億64百万円
- ・固定資産の取得 ▲2億72百万円

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果減少した資金は4億円となりました。

＜主な要因＞

- ・長期借入金の返済 ▲3億60百万円
- ・配当金の支払 ▲88百万円

4. 今後の見通し

今後の事業拡大の柱となる新商品のリリース

● 2015年11月：Hybrid Satisfa[®]をリリース

顧客情報システム

Hybrid Satisfa[®]

顧客情報システム「Satisfa[®]」に、ECサイトやモバイルアプリ等のオンライン向け連携機能を追加致しました。

● 2015年11月：MDware[®]自動発注クラウドをリリース

商品管理基幹システム

MDware

商品管理基幹システム「MDware[®]自動発注」を、Microsoft Azure 環境でサービス提供致します。

● 2015年11月：SoftWare CATをリリース

マルチ決済システム

SoftWare CAT

各種決済サービスとPOSシステムとをつなぐソフトウェアです。新たな決済手段が必要な場合、ソフトウェアをバージョンアップする事で対応可能となります。

新商品のリリース

●ANY-CUBE Neo (仮)

現在、新ANY-CUBEとして小売り各社が注力しているオムニチャネルに対応した新商品を開発中です。発売は2016年度前半を予定しています。
大手ドラッグストアをはじめ、SM業態などへの導入拡大を目指しております。

●MDware Global (仮)

流通小売業向け基幹システムであるMDwareをアセアン地域で販売拡大するため、現在、グローバル版を開発中です。まずは、ベトナムの現地小売業への導入を行い、その後、タイやミャンマーなどへの販売を行ってまいります。

今後の環境変化

- 消費税率変更に伴う軽減税率対応、およびマイナンバー導入によるシステム対応等については、政府方針および法令変更に対して迅速に対応していく予定です。

業績見通し



• 通期業績見通し

単位：百万円、%、百万円未満切捨て

	修正後予想		修正前計画対比（5月12日発表）				前年対比			
	予想値	売上比	計画値	計画比	計画差	売上比	前年値	前年比	前年差	売上比
売上高	28,100	—	29,100	96.6%	▲ 1,000	—	28,069	100.1%	31	—
売上総利益	5,396	19.2%	5,654	95.4%	▲ 258	19.4%	5,225	103.3%	171	18.6%
販売管理費	3,816	13.6%	4,014	95.1%	▲ 198	13.8%	3,667	104.1%	149	13.1%
営業利益	1,580	5.6%	1,640	96.3%	▲ 60	5.6%	1,558	101.4%	22	5.6%
経常利益	1,515	5.4%	1,618	93.6%	▲ 103	5.6%	1,757	86.2%	▲ 242	6.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	945	3.4%	1020	92.6%	▲ 75	3.5%	981	96.2%	▲ 36	3.5%

• 配当見通し

（単位：円，1株あたり）

	中間配当金	期末配当金	年間配当金合計	配当性向（連結）
2015/3期	10	10	20	17.8%
2016/3期	10	-	-	18.2%
2016/3期（予想）	-	10	20	18.7%

• 配当方針

当社は、株主様への利益還元を経営の重要課題のひとつとして認識しており、配当金につきましては、企業価値の向上とその水準の維持を可能とする範囲において、事業拡大のための内部留保を勘案しながら決定することを基本方針としております。

内部留保資金につきましては、今後予想される事業規模拡大のため新規事業及び新製品の開発に対し有効に投資してまいります。

<本資料取扱のご注意>

VINX

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料の作成は、正確性を期すために慎重に行っておりますが、正確性・完全性を保証するものではありません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は当社の公表している将来見通しとは大きく異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社ヴィンクス
企画本部 経営企画部
e-mail : ir@vinx.co.jp